

# ロシア東欧 経済速報

社団法人 ロシア東欧貿易会 東京都中央区新川1-2-12 金山ビル 郵便番号104 電話 (3551)6215~9  
ロシア東欧経済研究所 購読料 送料共前納 ・ 1ヵ月 1,200円 1ヵ年 14,000円

1996年(平成8年)10月25日 No. 1038

## 目次

ルクオイル —膨張する石油帝国の論理—	1
パーソナル	8
カリスマ・レベジは生き残れるか	
ロシア地方選シリーズの続報	
ウクライナに新大使	
C I S 諸国通貨の最新為替レート	9
統計速報	9
データフラッシュ	
1996年1~7月のC I S 諸国の経済	
1996年1~6月のC I S 諸国の輸出入高	
「ロシア科学技術展」開催のご案内	11

### ルクオイル —膨張する石油帝国の論理—

はじめに ロシアの『実業界』紙(1996.9.4)に、同国の石油最大手「ルクオイル」社についてのレポートが掲載された(T. ゾカエワ記者「石油帝国」)。ルクオイルが1991年の創立から周年を迎え、アレクペロフ社長が著書を記念出版したのを受けて、同社の歩みを評伝風にまとめたのがこのレポートである。ロシアの最重要企業であるルクオイルについての認識を深めるうえで有益な資料と思われるので、本号ではこれを抄訳して紹介することにする。

ロシアのロックフェラーか? ロシアの石油最大手「ルクオイル」社は、このほど創立5周年を迎えた。「円柱の間」で開かれた記念式典は盛大で、チャイコフスキーの音楽からヴァヒレフ「ガスプロム」社長、ポリシャコフ第一副首相の祝辞に至るまで、何もかもが壮麗だ。警備員までがタキシードをまとい、休憩時間には新ロシア人たちが英語の常套句を交えたお喋りに興じる。そして壁には、白と赤の華麗な社旗が飾られている。「まるで帝国のようだ」。当然、この夜もこうした声が聞かれた。では、実際はどうなのか。ルクオイルは、政権の秘蔵っ子なのか。恣意的につくられたものなのか。それとも、同社が自任しているように、自分たち自身でつくり上げたものなのだろうか。